

## 「EGFR 遺伝子検査（PCR-invader 法と Cobas 法）における uncommon mutation 検出率比較の後ろ向き観察研究」に関する患者様ならびにご家族様へ

当院では、「EGFR 遺伝子検査（PCR-invader 法と Cobas 法）における uncommon mutation 検出率比較の後ろ向き観察研究」という研究を行っています。保険診療で行われている EGFR 遺伝子検査である、PCR-invader 法と Cobas 法における検査結果の一致率を評価することが目的です。

### <対象となる患者様>

2015年1月1日から2017年12月31日までの間に、近畿中央胸部疾患センターにおいて、組織検体を用いてEGFR遺伝子検査を実施した肺癌の患者様を対象といたします。

### <研究内容>

診療目的で作成されたカルテ上の診療情報、病理診断標本を用いて検討を行います。本研究により新たに検体採取や費用など何かをお願いすることはありません。

### <個人情報の管理について>

あなたの名前や個人を特定できる情報は一切公開されません。  
プライバシー・個人情報は厳重に守られますのでご安心ください。

上記研究への参加を希望されない方、お問い合わせなどありましたら下記研究責任者までご連絡下さい。

### <研究責任者ならびにお問い合わせ先>

大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 臨床研究センター  
安宅信二

電話： 072-252-3021